※令和３年度以前入学生用

学校番号	414

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「古典Ｂ古文編改訂版」（株式会社筑摩書房　古 B348） 「古典Ｂ漢文編改訂版」（株式会社筑摩書房　古 B349）						
副教材等	「新版七訂　新訂総合国語便覧」（株式会社第一学習社） 「国語常識のトレーニング　国語便覧ワークノート」（株式会社第一学習社） 「新修古典文法　二訂版」（株式会社京都書房） 「新修古典文法　二訂版　ドリル編」（株式会社京都書房） 「必携　新明説漢文 ～句法と語彙を一緒に学ぶ～」（尚文出版株式会社） 「必携　新明説漢文ノート　～句法と語彙の定着を図る～　修訂版」（尚文出版株式会社） 「文法を攻略し、実践力を養う　リード古文３発展編」（株式会社啓隆社） 「つながる・まとまる古文単語 500PLUS」（株式会社いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多様な古典作品を読めるようになることを目標として力をつけていきます。文法や重要単語を定着させるべく、繰り返し学習しましょう。知識を習得するのはもちろんのこと、その上で実際に文章と向き合うことが最も重要です。様々なジャンル・時代の作品を勉強していく中で主体的に口語訳を行い、自分の考えを文字で表現し、学習の進み具合を客観的に見る態度を培いましょう。また、多様なものの見方、感じ方ができるよう、古典について理解、関心を深め、感性や人生を豊かにする態度を持ってもらいたいと思います。

２　学習の到達目標

・学習した語句や文法の知識を活用し、文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・作品に描かれたさまざまなものの見方、感じ方を的確に読み取り、考え方を豊かにする。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、想像力、感性を豊かにしようとしている。
・自ら学習計画を立て積極的に作品に向き合うことができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、伝統的な言語文化に対する関心を深めようとする。			まとまった量の古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め，知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 定期考査			授業態度 発問評価 指名音読 定期考査	授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	物語	教材：『源氏物語』 （「若紫の君」）	○			◎	○	a:『源氏物語』を読むことや、教材の内容に興味・関心を持っている。 d:物語の展開と登場人物の心情を理解している。 d:和歌･自然表現などの表現の効果について理解している。 e: 助動詞･呼応の副詞･敬語法･重要古語などについて理解している。 e:作品や作者について理解している。	授業態度 指名音読 発問評価 学習課題の提出 定期考査
	漢文	教材：『韓非子』 （「不死之薬」） 『日本外史』 （「信玄何在」）	○			○	◎	a: 漢文で書かれた小説に関心を持ち、物語の内容を理解しようとしている。 d:物語の内容を理解し、人物の心情を読み取っている。 e:基本的な句法･語法を理解しているか。 a:日本漢文や、教材の内容に興味・関心を持ち、訓点に従って正しく音読し、登場人物の行動や心情を理解している。 e:返り点・再読文字・助字・返読文字の種類や用法を理解している。	授業態度 指名音読 発問評価 学習課題の提出 定期考査
	日記	教材:『和泉式部日記』 (「夢よりもはかなき世の中を」)	○			◎	○	a:物語的な日記の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 d:和歌の贈答について理解し、恋愛感情の高まるさまを読み取っている。 e:和泉式部と『和泉式部日記』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	授業態度 指名音読 発問評価 学習課題の提出 定期考査
二学期	漢文	教材：『史記』 （「良賈深蔵若虚」）	○			○	◎	a:教材の内容に興味・関心を持っている。 d:訓点に従って正しく音読し、教材の内容を的確に理解している。 d:登場人物の行動と心情を理解している。 e:返り点・再読文字・助字・返読文字の種類や用法を理解している。	授業態度 指名音読 発問評価 学習課題の提出 定期考査
	物語	教材:『源氏物語』 (「車争ひ」)	○			◎	○	a:既習の内容を確認し、今後の展開に興味を持とうとしている。 d:場面の状況に即して登場人物の心情の動きを的確に把握している。 e:現代語訳をする上で重要な敬語や助詞・助動詞を理解している。	授業態度 指名音読 発問評価 学習課題の提出 定期考査
	歌論	教材：『無名抄』 （「深草の里」）	○			◎	○	a:『無名抄』を読むこと、教材の内容に興味・関心を持っている。 d:俊恵の歌論の論旨を読み取っている。 e:重要古語などについて理解し、『無名抄』や、俊恵・鴨長明について理解している。	授業態度 指名音読 発問評価 学習課題の提出 定期考査
三学期	物語	教材：『雨月物語』 （「浅茅が宿」）	○			○	◎	a:近世の文章の表現特色を理解し、作品を読み味わっている。 d:話の構成と人物像を読み取り、内容と心情を理解している。 e:近世の小説について、基礎的な知識を持つ。	授業態度 指名音読 発問評価 学習課題の提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力

※令和３年度以前入学生用

c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。